

富本憲吉と會津八一

～孤高の美の求道者たち～

2019. 10.9水 ▶ 12.15日

会場／新潟市會津八一記念館 〒950-0088 新潟市中央区
万代3-1-1 メディアシップ5階

10:00～18:00 (受付17:30まで) 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】 前売り500円(一般のみ)、一般600円、大学生300円、高校生200円、
小中学生100円 ※団体は20名以上2割引、小中学生は土日祝日無料

※10月7日から12月14日まで敦井美術館(新潟市中央区東大通1 北陸ビル1階)で
「近代陶芸の巨匠 富本憲吉とその系譜」展が開催されます。



- 【主催】 新潟日報社、BSN新潟放送、新潟市、
公益財団法人會津八一記念館
- 【協力】 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造
- 【後援】 読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、
産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、
共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局
NHK新潟放送局、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21
- 【前売取扱所】 インフォメーションセンターえん(メディアシップ1階)、NIC新潟日報
販売店、新潟伊勢丹、文信堂書店、會津八一記念館、セブン-イレ
ブン(セブンチケット) [10月8日まで販売]

【右】富本憲吉(磁器 赤地金銀彩羊歯模様 蓋付飾壺)(1953年、奈良県立美術館蔵)

【左】富本憲吉(白磁 壺)(1958年、奈良県立美術館蔵)



文化ふっつつ新潟!



beyond
2020

※会期中、一部展示替えがございます。



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

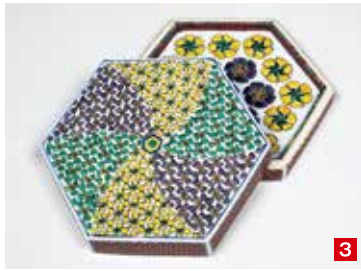
新潟市 會津八一記念館

TEL 025-282-7612

URL <http://aizuyaichi.or.jp>

富本憲吉と會津八一

～孤高の美の求道者たち～



大和安堵村なる
富本憲吉の工房に立ちよりに
いかるがの
わさだのくろに かりほして
はにぬらすらむ
ながきながよを
會津八一

- 1 富本憲吉《磁器 色絵「春夏秋冬」字 瓢型飾壺》(1939年、奈良県立美術館蔵)
- 2 富本憲吉《土焼 鉄描銅彩曲る道模様 大皿》(1929年、奈良県立美術館蔵)
- 3 富本憲吉《磁器 色絵四弁花更紗模様 六角飾筥》(1945年、奈良県立美術館蔵)
- 4 富本憲吉《染焼 草花模様 蓋付壺》(1914年、奈良県立美術館蔵)
- 5 富本憲吉《磁器 色絵水瓶図 大円陶板》(1959年、奈良県立美術館蔵)
- 6 富本憲吉《陶印「秋草堂」》(1946年、新潟市會津八一記念館蔵)
- 7 會津八一、齋藤三郎《陶器 汲出6客》(1951年、新潟市會津八一記念館蔵)
- 8 富本憲吉「大和の百姓家」
(會津八一著「南京新唱」より、1924年、新潟市會津八一記念館蔵)
- 9 富本憲吉《磁器 染付「躍」字 皿》(1935年、個人蔵)
- 10 會津八一、齋藤三郎《陶器 蝶抜「藝」字 皿》(1953年、個人蔵)



富本憲吉

富本憲吉(1886~1963)は、奈良県生駒郡安堵町に旧家の長男として生まれた陶芸家です。本格的に陶芸を始めたのが東京美術学校を卒業し、英国留学後のことでした。染焼から始まった制作は、土焼、染付、白磁など多彩に展開し、晩年の1955年には色絵磁器で重要無形文化財保持者となり、1961年に文化勲章を受章しています。

一方、會津八一(1881~1956)は、新潟市出身で書家・歌人・東洋美術史家として活躍しました。学生時代は英文学を学び、卒業後は英語教師として勤めています。27歳の頃、奈良を訪問して以降その地を酷愛し、短歌を詠み、美術史研究に熱心に取り組みました。

富本は八一と若いころから交流があり、八一の初めての歌集『南京新唱』(1924年刊)の挿絵を描き、陶印「秋草堂」などを制作しています。

二人は西洋の知識や同時代的な芸術観を持ち、分野は異なりますが独学で芸術の道を探求しました。また、優れた教育者としても知られています。

本展では、奈良県立美術館が所蔵する富本の名品を中心に、これまであまり知られてこなかった二人の交流と作品も紹介します。

関連イベント

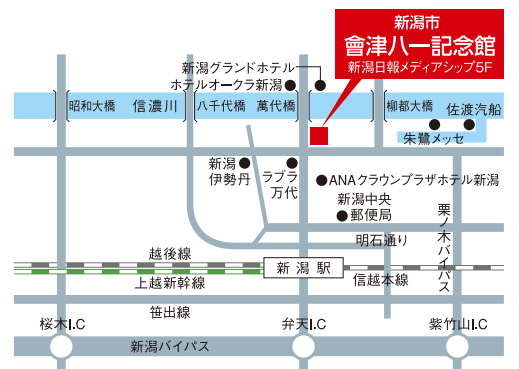
追想・富本憲吉先生 ～オマージュとして

【日時】 10月11日(金) 14:00~15:30(予定)
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)
【定員】 100名
【聴講料】 500円
【講師】 柳原陸夫氏(陶芸家・大阪芸術大学名誉教授)

富本憲吉と京都

【日時】 11月8日(金) 14:00~15:30(予定)
【会場】 日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)
【定員】 100名
【聴講料】 500円
【講師】 並木誠士氏(京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長)

※往復はがきに希望イベント名、住所、氏名、電話番号を記入し、會津八一記念館までお送りください。定員に達し次第締め切ります。1通につき1イベント、1名様までのご応募といたします。



AIZU YAICHI
AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM

新潟市 會津八一記念館

お問い合わせ先

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5階
TEL 025-282-7612 FAX 025-282-7614
当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。
(階段はございません)

作品解説会 【日時・場所】 期間中の日曜日 午前11時から当記念館展示室にて